

「自分のビジョン」

【株式会社 中電シーティーアイ】

情報処理科 女子

皆さんの自分自身のビジョンはどんなものですか。
私は中学生の頃「楽しい人生を築く」というビジョンを持っていたので、高校卒業後に就職が出来る愛知商業に進学しました。

愛知商業で勉強、資格取得、社会人基礎力、人間関係など多くことを学んでいく中、私はパソコン技術を多く身に付けたい、システム開発に関わる仕事がしたいという気持ちが強くなりました。また、2年生の冬頃、様々な企業の話聞くことができるフェアに参加し、インフラ関係の会社の話聞きました。私たちが普段、当たり前に使っている電気がどのように管理されているかなど、電力に関する情報の背景を知りインフラ業界に興味を持ちました。そして3年生になり、受験する就職先を決めるとき改めて自分のビジョンについて考えました。愛知商業での3年間で多くの人と関わり、学び、様々な社会経験を積み重ねて、今の自分のビジョンは、「自分の専門知識や実技を活かして社会に貢献する」というものになりました。そのビジョンに1番近づくことができる就職先を受験し、内定をいただくことが出来ました。

高校生活はただ学び、楽しむのだけではなく、自分のビジョンをしっかり考える時期だと私は思いました。高校生から社会人になるのは大きな決断です。中途半端に進路を決めて「こんな自分になるはずじゃなかった、」という状況にはなりたくありません。自分のビジョンを持つことは、進路選択にとっても大きな役割を果たしてくれました。これからも自分の持つビジョンを大切に、立派な社会人になりたいと思います。

「努力の継続」

【東海東京フィナンシャルホールディングス】

経理科 女子

私はこの3年間で継続的に努力をすることの大切さを実感しました。私は愛知商業に入学する前に体験入学で有名企業からの内定が決まったという先輩のお話を聞きました。その先輩は中学生の頃は勉強が苦手だったとおっしゃっていました。私も中学生の頃はあまり勉強が得意ではなかったので高校生になったら努力の継続を自分の中でスローガンにしてさらに積極的に勉強し、自分の将来の良い進路を掴み取りたいと思うようになりました。普通科とは違って定期テストは進路に直結するととても重要なものなので必死に勉強をして良い結果につながるよう努力しました。時には「今回のテストは諦めたい」と思うこともありましたが、それでも自分の入学前からの決意を忘れずに3年間勉強に励むことができました。いざ受ける企業が決まった時、私は少し緊張しましたが積極的に多くの先生方に面接練習をお願いしました。先生方は快く受け入れてくださり、私に沢山面接指導をくださいました。先生方からのアドバイスがなければ上手く面接で話すことはできなかったと思います。ここでも努力の継続を忘れずに、指導していただいた部分を家で改善したり新しく調べ直したりと努力を続けました。その結果本番の面接では落ち着いて話すことができ、内定をいただくことができました。3年間努力を続けることは大変でした。それでも諦めずに最後まで努力を継続したことによって結果に結びついたのでと思います。これからも努力の継続という言葉を私自身の中で忘れないようにして行動していきたいです。

「スタートライン」

【株式会社 ゴムノイナキ】

情報処理科 女子

愛知商業高校入学は夢へのスタートラインではなくスタートラインに立つための準備期間であったとしっかりと理解をしたのは学科選択の時でした。

私は中学生の時から高校卒業後は必ず就職して働く決めていました。しかし詳細について全く決めておらずただ将来は働きたいというあやふやな思いを抱えて年間を過ごしました。その為愛知商業高校入学後は就職先の多い経理科へ進むつもりでしたが沢山の先生方や先輩の話を聞いていると私の夢を本当の意味で叶えられないと考えました。

私の夢は”最後まで働き穏やかに生活を送ること”です。面白みが無いとよく言われますが私は非常に大切であると考えています。現在世界中でAIなどの技術の発展が進み無人化が進んでいます。その上つい先日まで世界中で流行病が猛威を振るい人件費削減のため多くの方が職を失い問題になりました。それは事務職も例外ではありません。そんな時私は改めて就職の決め手となる学科選択について改めて考えました。そんな時親しい友達が情報処理科に行くと話してくれました。その友達とならもし嫌になってしまったとしても頑張れると思い私は情報処理科に進むことにしました。最後の決め手は不純でありましたが情報処理科だからこそ就職できるIT関連の職業というのは知識がある人間が少ないため非常に重宝されているという考えもありました。

現在私は無事にシステムエンジニアとして就職する予定です。学科選択の決め手は良いものではなかったかと思えます。しかし夢追い続けて18年、ようやく自分の夢へのスタートラインに立つことが出来ました。自分の選んだ道が望んだ道ではなかったり、なんとなく進んだ道だったかもしれません。それでも努力して夢を諦めず追い続けて自分の夢をつかみ取ってください。

「目標を持つこと」

【株式会社 進和】

事務科 女子

私は高校卒業後、進学ではなく就職をすると決めていたため愛知商業高校に入学しました。しかし決めていたのは“就職をする”ということだけでその先は決めていませんでした。そのため自分の行きたいと思ったところに就職することができるように、勉強と部活の両立に力を入れていました。しかし、私は勉強をするスイッチを入れるのに時間がかかるためとても苦労しました。1年生の時はなかなかやる気にならずテストが近づいてくると焦って勉強することが多く、そんな自分が嫌になり自信がなくなってしまいました。そんな自分にいつも反省し、次はもっと余裕をもって勉強をしようと思うようになり先のことを考えて目標を立てることを意識するようになりました。私は計画や目標を立てたりすることが苦手でしたが、意識することで少しずつできるようになり自信をもって行動することができるようになりました。

3年生になり就職試験の日がだんだんと近づいてきました。私の受ける会社は面接に加え筆記試験もありましたが、“この日までにこれを覚える”など持ち前の目標を立てて行動することで乗り越えることができました。無事に内定をいただくことができ、3年間継続して頑張ってきて本当に良かったと思うことができました。目標を持つことでそれに向かって努力していくことができるので目標を持つことは大切なのだと実感しました。これからも目標を立てることを意識して頑張っていきたいと思っています。

「恩返し」

【トヨタ自動車株式会社】

国際ビジネス科 男子

私は高校生活終了後の道が決まっておらず選択肢を広げるために愛知商業高校への入学を決めました。私は年長の時から野球をしてきて高校に入ってから野球部に入部することを決めました。ですが、中学校の頃と比べて野球漬けの毎日で野球と勉強の両立ができず、成績が上がっていき進路への道が広がりました。トヨタ自動車からの求人をお願いした際はとてうれしく絶対合格し、今まで支えてくれた両親に恩返しする気持ちになりました。合格を目標に面接練習が始まり最初の頃は自分の言いたいことが言葉に表せず、何度も面接練習に行きたくないと思うことがありました。ですが練習を重ねていくうちに自分をうまくアピールできるようになり、とてうれしい気持ちと同時に自信へと変わってきました。両親への恩返しの気持ちを常に持ち続け、期待に応えるという気持ちを持ち試験に挑みました。試験中はなかなか上手にいかず心配していましたが、私の長所である笑顔を全面に出し続けやってきたことを全部出しました。その結果、内定をいただくことができとても安心して両親、先生方への感謝の気持ちでいっぱいになりました。試験を受けて感じたことは、人より何倍面接練習をすることや、どれだけ自信を持っていけるか、どれだけ準備を大切にできるかだと感じました。

愛知商業に入って感じたことは、挨拶、礼儀の徹底力だと思っています。挨拶、礼儀はこれから社会に出てもっとも大切になってくることだと思っています。愛知商業で培ったことを全面に発揮して愛商生としての誇りを持ち頑張っていきたいと思っています。

「自分で判断し、行動する」

【興和株式会社】

経理科 女子

私は、自分で判断することが苦手で、他人の意見に流されたり、判断を任せたりすることが多々ありました。自分の判断で失敗するよりも、他人の判断で失敗の方が精神的なダメージが少なかったからです。高校生になっても、無意識に自分で判断することから逃げていました。今でも、どこか他人事で判断を任せてしまうことがあります。しかし、就職試験の対策は、自分で行動をしなければなりません。筆記試験の問題集を借りたり、面接の練習を先生方をお願いしに行ったり。私があのように積極的に行動したのは初めてだったと思います。最初に面接練習をしたときはとても緊張しました。本番よりも緊張していたような気がします。しかし、そこで面接とはどのようなものか理解し、2回目からは、見てほしい自分を引き出すことができました。そして、自分から行動を起こし、何度も面接練習を繰り返しました。

その努力の結果、無事に内定をいただき、私の努力は裏切らなかつたと思いました。たくさん練習をしたことで、面接の空気に慣れ、たくさん努力をした分、安心して挑むことができました。話す速さや声の大きさも最初と比べると、とても良くなりました。本番ではむしろ、練習のときよりも良い面接ができたと思います。最初の一步を踏み出せば、後は自然と前へ進めます。何事も、最初の一步が一番勇気が必要です。また、自分から行動を起こすことは、これからの自信に繋がります。もっと手をあげれば良かったと思えるくらい努力してみましょう。

「努力し続けること」

【株式会社 たねや】

国際ビジネス科 女子

私は、高校に入学した時から就職を考えており、人と接することが好きなことから販売職に就きたいと思っていました。

私は、約9年間ハンドボールを続けており、高校3年間でもやり通すことができました。部活動と勉強の両立にとっても苦勞していましたが、これからの自分に少しでも有利になるように、引退をしてから短い期間で2つの検定取得に努力し実現することもできました。

私は面接が苦手だったので、就職試験まで多くの先生方や友人にお願いをし、声に出して話す練習をすることを努力していました。その結果、少しずつ話すことにも慣れ、自信をつけることもでき、話し方など硬くならず自然となっていました。当日はとても緊張していましたが練習してきたことを十分に発揮することができ、会話のキャッチボールが上手くできました。無事内定をいただき今までの努力が報われたと感じましたが、ここをゴールだと思わずスタート地点だと思い、4月から新しい環境で自分の強みを最大限に生かして貢献していきたいです。

就職に向けての準備は、何度も諦めたい気持ちでいっぱいになることもありましたが、忙しい中練習に付き合ってくださった先生方や友人に支えられながら努力を続けたことで改めて努力は裏切らないことを学ぶことができました。面接練習は面倒だと感じてしまうかもしれませんが、これからの人生の第一歩となることでもあるので、諦めず努力をし続けて頑張ってください。